

具体例に学ぶ e 法務ソリューション

デジタル訴訟社会を生き抜くために

予防法務・訴訟対策 ソリューションは万全ですか？

第 1 回

「予防法務」に効果を発揮するログ管理ソリューション

text by AOS テクノロジーズ 株式会社



従業員管理のあり方を 見直そう

終身雇用制度が衰退し、雇用の流動化が急速に進むなど、企業の雇用環境が大きく変わりつつあります。正規社員が減少する一方で非正規社員が増加するという流れは当然の間は続くことでしょう。そこで気を付けなければいけないのが、従業員による企業内の情報の不正な持ち出しです。なぜならば、従業員一人当たりの雇用期間が短くなればなるほど、従業員の会社への所属意識や仕事に対するモラルが低下する傾向にあるからです。加えて、仕事でパソコンや携帯電話、インターネットを使うのが当たり前となったことも、知らないうちに業務上の大切な情報が持ち出しされる危険性を高めています。

日本の企業の場合、従業員の管理を性善説に基づいて行う文化がまだまだ根深いようですが、残念ながらそうした意識のままでは、これからのデジタル訴訟社会を生き抜くことは難しいでしょう。「うちの従業員がまさか」とたかをくくっては

いないでしょうか。いざ情報が流出して企業の信頼を著しく喪失してしまっただけでは取り返しがつかないのです。このような状況を見れば、多くの企業にとって従業員の管理のあり方そのものを大きく見直す必要性があることを理解してもらえないでしょうか。

ログ管理ソフトで パソコンの操作を 記録・監視

それでは、さまざまなリスクに備えて従業員を適切に管理するためにはいったいどのような対策が必要なのでしょう。いくら情報流出などを防ぐための厳しいルールを企業側が設けても、従業員が悪意を持って情報を持ち出そうとした場合には防ぐことは困難です。そこで有効な対応策となるのが、従業員のパソコンや携帯電話の使用状況の記録・監視を行うログ管理ソフトの導入です。

当社が提供しているログ管理ソフト「スペクタープロ」は、パソコンが連携して日頃から記録・管理する取り組みが予防法務です。事故が起こってしまったときの事後対策としては、電子データを証拠として開示する「e 法務デイスカバリ」やデジタル証拠を復元・調査する「e 法務フォレンジック」があります。海外はもちろんのこと最近では国内の訴訟においても、電子情報が裁判で重要証拠として扱われる事例が増えています。こういった背景を受け、法務担当者にはこれまでのようなコンプライアンスのためのルールづくりだけでなく、具体的な予防法務の対策と、訴訟対策を実施することが求められています。

このように、ログ管理ソフトが実際にどのような業務の効率化に役立っているのかを、あるIT企業のコールセンターでの事例を示しながら見てみましょう。このコールセンターではすべてのオペレーターのパソコンにログ管理ソフトがインストールされています。その使用記録をスーパーバイザーが常時監視して、効率の悪い仕事がないか画像でチェックします。そして無駄な操作を見つけると改善方法を指導するのです。

予防法務をしっかりと

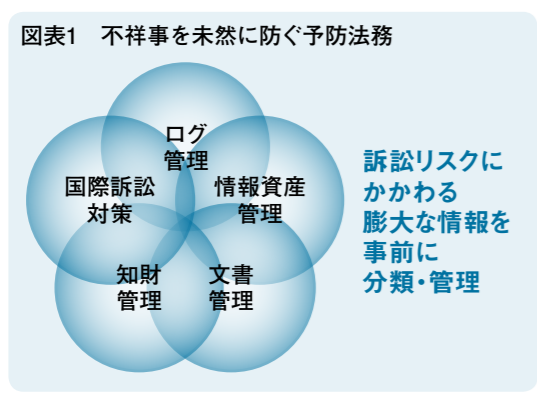
現在、日常業務の中でパソコンや携帯電話が生み出す電子データは膨大な量に上ります。このような時代に情報漏洩事故や各種不祥事、そして特許紛争をはじめとする国際訴訟から企業を守るためには、平常時からリスクを抑える予防法務（事前対策）と、リスク発生後に適切な対応を行う訴訟対策（事後対策）、この二つの対策に取り組むことが不可欠です。電子データを法的視点のもとに、法務部門や弁護士、IT部

の操作内容を画面で記録するスナップショット機能などによって、パソコンのすべての操作ログを記録することができます。これにより、「誰が」「いつ」「どのソフトを」「どのように」「使用したか、さらには」「何をキー入力したか」「どのウェブサイトを閲覧したか」までを把握することが可能になります。このように、従業員のあらゆるパソコン操作の履歴を残しておけば、いざ情報の持ち出しなど不正使用が発覚した場合にも、「なぜそのようなことが起きたのか」「誰が行ったのか」「どの情報がどのように持ち出されたのか」を迅速かつ正確に把握し、その後の適切な対応に結びつけることができます。また、従業員に対する心理的な不正抑止効果が高い点も重要です。

不正行為を未然に防止

ログ管理ソフトによる不正抑止効果を最大限に発揮するためには、すべてのパソコンにログ管理ソフトがインストールされており、企業側がパソコンの操作ログの監視を

行っているということをしつかりと従業員に周知する必要があります。なぜならば、そのような事実を知ることで、従業員がパソコンを使用する際に心理的な抑制が働くからです。だからこそ、不正行為を未然に防ぐことができるようになるわけです。さて、ここでもう一つ注目しておきたいのが、ログ管理ソフトの使用効果が不正使用のリスク防止にとどまらないという点です。残業代も抑制できますし、従来の仕事の効率を大幅に向上することまでできてしまうのです。



構成・小池晃臣(株式会社タマク)